2019年5月某日

差枚	+3429枚	RANK	S

実戦機種

SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ、パチスロ マクロスフロンティア3、
パチスロ セイクリッドセブン、パチスロ蒼天の拳 朋友

実戦レポート

つい2日前にS級を獲得したばかりとあって、気分的にはかなりノった状態で迎えたこの日。しかしここのお店は常連客の狙いが鋭いので、電車が遅れて一般入場となってしまったオレは、(割といつも通りではあるが)先客が選びにくい、個人的趣味に溢れる機種からスタートとなった。そう、「SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ」である。もはや「高設定が入る可能性がある」→「バジⅢがある」→「座る」の三段活用は誰にも止められないぜ。
まぁ、今回は1周期目にARTを当てて、その持ちメダルの間に「あ、6じゃないな」と見切ることができたので、かなり早めの台移動となったのだが、な。この分かりやすさもバジⅢの魅力。

さて、問題はここからだ。最近の数ヵ月を見ても、狙いの鋭い常連の予想を裏切るような高設定投入パターンがいくつかあったらしい。その傾向を考慮して、これまであまり高設定シマになっていない機種といえば…これか、「パチスロ マクロスフロンティア3」！　かなり設定が分かりにくい機種なので逆にアリか、とも思ったが、やっぱりよく分からないまま500枚近くを失って手放すハメに。アホか…アホかオレは一！
と、とはいえだ。こうして序盤からあちこち動き回ったおかげで、ある程度見えてきたものもある。いつもはあまり意識しないが、どうやら「特定の台番末尾」の高設定パターンが、本日は1番か0番じゃないだろうか？　その方針に沿って空き台を探すと、ありましたよ。オレの得意の「パチスロ蒼天の拳 朋友」がね！　ここでは初当りを軽～く引いて、ボーナス中の示唆で偶数設定がかなり濃くなって、あとは4か6かを期待して打つのみ。ここまでは黄金パターンだったのだが、次のボーナスまでに適度なハマリをくらい、「あれ、設定2か？」の疑念が急浮上。

…よし、ヤメとこうか。実は打とうと思っていた機種がもう一つあったのだよ。朝イチに高確状態からスタートしたっぽい「パチスロ セイクリッドセブン」が、もしかして全台系なんじゃないか？ってな！　これまた設定が非常に分かりづらい機種だが、幸いにも空き台に移動してすぐARTが引けて、それがあれよあれよと89%ループまで到達、一撃3000枚だ!!　あとは投資分の約500枚さえ何とかすれば、「差枚+3000枚」というS級獲得の必須条件が見えてくる。…だがその前に、なんだかんだ2000Gほど回したこのセイクリッドセブンだが、全然高設定っぽくないような？　時刻はもう夕方。この時間で空いている台となると…うーん、やっぱり蒼天かなぁ。でもさすがに、今度はさっきと違う台で…とりあえず隣から調べてみるかぁ。そんな感じに選んだ台が、やっぱり偶数設定挙動で、しかも出玉好調で、+3000枚を達成しつつ設定4以上セリフまで出てしまうのだから、パチスロってやつは本当に分からん。ま、時代は蒼天ってことだ。